

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 ライオン(パンジー)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○				構造化で工夫して適切に行い ます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○				基準配置以上の職員が入って います。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○			出入口や室内はバリア フリーになっています。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設 定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			SU,FBを職員間でこまめ に行っています。	クラス会議などで話し 合います。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○			面談の中でアンケートを 実施して保護者の意向 の把握に努めている。	アンケートによって、必要な業 務改善を行っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○				ホームページで公開し ます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	○				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			法人内の朝研修や外部 のコンサルテーションを 受け、学び支援につなげ ていった。	研修に積極的に参加し、学び を深めます。
適切な支 援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				引き続き、活動のプログラムの 立案をチームで行っていきま す。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			季節に合わせた活動を 心掛けている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			臨時休校にも園全体で 連携してすみやかに対 応出来た。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	○				日頃からの職員間のコミュニ ケーションを大切にしていきま す。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				日頃からの職員間のコミュニケーションを大切にしていきます。	
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、日々の記録をとっている。		
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画的にスケジュールを立てて取り組む事ができた。		
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○					
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					
	⑩㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎のミスがないようクラス間でまめに変更を共有したうえで送迎部に連絡を行った。	引き続き、ミスの無いように複数の職員で確認していきます。	
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			病院診察に同行したり書面をもらうなどで連絡を取っている。	安全に医療的ケアを行うように今後も留意していきます。	
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○					
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			該当者がいなかった。	
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				法人内の児童発達支援センターと連携し、助言や研修を受けている。	
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			コロナ感染防止の為行っていないかった。	
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○					
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				面談の他にもまめに保護者と連絡をとり共通認識を持つことができた。	日頃からのコミュニケーションを大切にしていきます。
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○					保護者への参加の呼びかけを行っています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			状況に応じ保護者と面談や電話連絡を行い必要な支援を行った。	日頃からのコミュニケーションを大切にし、相談しやすい関係を築いていきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子発達支援を計画し、コロナの影響で2回目は中止になったが1回目は行うことが出来た。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの苦情に対して、上司に報告、アドバイスを受け対応することが出来た。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			鍵のかかる書庫に保管している。	引き続き、個人情報の取り扱いに十分に注意して管理してまいります。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				面談、送迎の折や電話などで意思の疎通を努力します。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回事業所での避難訓練、年1回地域の小学校への大避難訓練を行った。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			週1回助けを求める、助けに入る練習を行った。	積極的に虐待防止に努めます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				安全の為やむを得ず腰ベルトを使用する等を了解得ます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの子どもへの対応は厳重にチェックを行い対応した。	医師の指示書に基づいてチェックします。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットがあった場合には、上司に報告し、苦情処理委員会に報告している。	ヒヤリハットを細かく報告して事故を防いでいきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。